2008 年度

科目名	対象学科・学年	担当者
東洋文化史	教育教福２回生	梯　信暁

授業テーマ
中国古典の研究

授業の概要と目標
東アジア諸地域の文化に大きな影響を与えた中国古典文献を紹介し、そこにあらわされた世界観・人間観・社会観などを分析して、東洋文化の淵源に触れるとともに、漢文文献の解読に必要な基礎知識の習得をめざします。【前期】孔子・老子をはじめ、中国古代の思想家たちを紹介し、代表的な文献を講読します。今年度は抱朴子葛洪の『神仙伝』をとりあげ、仙人の実態にせまります。【後期】漢代に伝来した仏教と中国古来の思想との出会いがテーマです。今年度は牟子の『理惑論』を講読します。「仏」の意味や、霊魂のとらえ方、輪廻の理解など、初期中国仏教の問題意識を分析します。講読にあたっては、テキストのデータ化をめざし、受講生にはコンピュータを用いて課題に取り組んでもらいます。

評価方法
レポート（40%）・授業中の発表（40%）・出席状況（20%）

テキスト	著者	出版社
参考資料・原典をプリントして配布します。		

参考書	著者	出版社

授業スケジュール・内容

1. オリエンテーション：講義の目標と内容の概説
2. 孔子の生涯と論語のことば
3. 儒家の思想：荀子と孟子
4. 孫子と兵法
5. 陰陽五行説
6. 老子
7. 荘子
8. 韓非子と法家
9. 老荘思想と神仙思想
10. 『神仙伝』解題
11. 『神仙伝』講読①序文
12. 『神仙伝』講読②老子伝：老子神格化の過程
13. 『神仙伝』講読③老子伝：出生に関する伝説
14. 『神仙伝』講読④老子伝：史記老子伝の評価
15. 『神仙伝』講読⑤老子伝：老子と神仙術
16. 中国仏教概観
17. 牟子『理惑論』解題
18. 『理惑論』講読①：序文
19. 『理惑論』講読②：仏伝
20. 『理惑論』講読③：仏とは、道とは
21. 『理惑論』講読④：仏教の教説に対する種々の疑問
22. 『理惑論』講読⑤：孝の思想と出家の意味
23. 『理惑論』講読⑥：礼の思想と仏教
24. 『理惑論』講読⑦：霊魂のとらえかた
25. 『理惑論』講読⑧：中華思想と仏教
26. 『理惑論』講読⑨：世俗の福徳
27. 『理惑論』講読⑩：仏法初伝
28. 『理惑論』講読⑪：五経と仏教
29. 『理惑論』講読⑫：仏教と神仙術
30. まとめ